



表紙・規約・編集後記・編集委員・奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-05-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10466/15955">http://hdl.handle.net/10466/15955</a>

# 言語文化学研究

日本語日本文学編

第 13 号

中国文学と太宰治 — 『聊齋志異』 「黄英」と 「清貧譚」 —  
松田 忍 一

原民喜 「夏の花」 論 — 灰白色の文学 —  
山崎 正純 一三

2018年 3 月

大阪府立大学人間社会システム科学研究科  
言語文化学専攻

## 規 約

- 1) 雑誌『言語文化学研究』は、3分冊とし、それぞれ「日本語日本文学編」「英米言語文化編」「言語情報編」とする。
- 2) 大阪府立大学人間社会システム科学研究科言語文化学専攻所属の教員は、雑誌『言語文化学研究』に投稿することができる。
- 3) 下記3つの範疇に属する者で、大阪府立大学人間社会システム科学研究科言語文化学専攻所属の教員の推薦を受けた者は、『言語文化学研究』に投稿することができる。
  - (1) 大阪府立大学人間社会システム科学研究科に在籍する学生および修了生、単位取得退学者
  - (2) 大阪府立大学人間社会学研究科に在籍する学生および修了生、単位取得退学者
  - (3) その他特に、大阪府立大学人間社会システム科学研究科言語文化学専攻所属の教員が認めた者
- 4) 投稿は未公刊学術論文に限る。
- 5) 原稿の査読・採否の判断その他の編集業務はすべて編集委員会の決定にしたがって行う。編集委員会は、教授1名以上を含む委員構成にする。なお、査読は複数の査読者によって行われる。
- 6) 投稿方法、原稿の書式については別に定める投稿規定、執筆要項を参照のこと。
- 7) 掲載原稿の著作権は、著者に帰属する。ただし、編集委員会は、掲載原稿を電子化し、公開・配布するための権利を有するものとする。
- 8) 掲載原稿は原則的に、大阪府立大学学術情報リポジトリOPERA (<http://repository.osakafu-u.ac.jp/dspace/>) に登録し、公開する。

## 編 集 後 記

『言語文化学研究 日本言語文化学編 第13号』をお届けします。

2005年4月、「大阪府立大学」「大阪女子大学」「大阪府立看護大学」の三大学が統合され、公立大学法人大阪府立大学として新たなスタートを切りました。それに伴い、大阪府立大学総合科学部（人間科学科・総合言語文化学科）と社会福祉学部（社会福祉学科）、そして大阪女子大学の人文社会学部（人文学科・人間関係学科）を統合再編することで人間社会学部が誕生し、学部内には人間科学科、社会福祉学科と同時に言語文化学科が設けられました。

学術雑誌『言語文化学研究』は、この言語文化学科所属の教員を中心として刊行しており、それぞれ専門分野に応じて「日本語日本文学編」「英米言語文化編」「言語情報編」の3分冊となっています。

本誌に掲載の論文は、以下のサイトでも閲覧可能です。

[http://www.lc.osakafu-u.ac.jp/Lng\\_Clt/toc.html](http://www.lc.osakafu-u.ac.jp/Lng_Clt/toc.html)

## 編集委員

山崎正純（「日本語日本文学編」担当）

瀧野哲郎（「英米言語文化編」担当）

中村直子（「言語情報編」担当）

2018年3月31日発行

〒599-8531 大阪府堺市中央区学園町1-1

大阪府立大学人間社会システム科学研究科言語文化学専攻